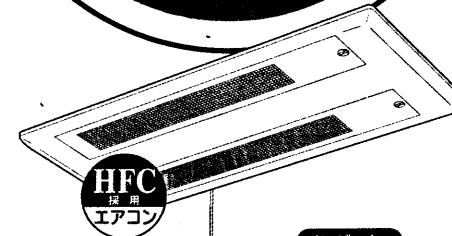
取扱説明書

日立ルームエアコン

RAQ-50LX1形

室内ユニットRAQ-50LX1形/室外ユニットRAC-Q50LX2形
化粧パネル RAQ-5CPL形
センターリモコン RAQ-RAR1形
吹出ユニット（自動ダンパー付）RAQ-GDA1形
吹出ユニット RAQ-GDM1形
全熱交換気ユニット RAQ-MN100形

インバーター
冷房・暖房
カラッと除湿タイプ
〈セパレートフリーダクト形〉

もくじ

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書・ご相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このようなことはありませんか	●コゲくさい臭いがする。 ●運転音が異常に高くなる。 ●室内ユニットから水漏れがする。 ●漏電しゃ断器がひんぱんに落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	専用ブレーカーを"OFF"にして必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

形　名

購入店名

電話　（　）

購入年月日　年　月　日

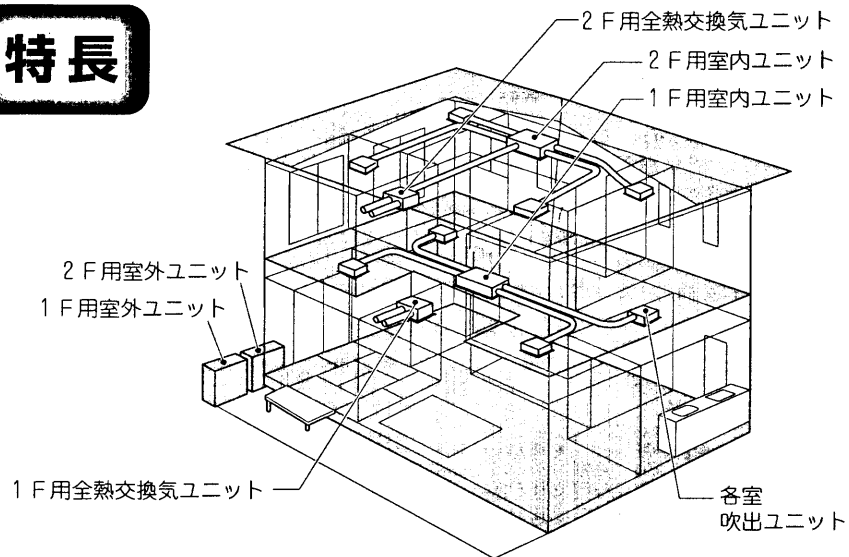
株式会社 日立空調システム
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話 (03) 3255-7271

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

RAQ-50LX1

はじめに

このルームエアコンは、高気密・高断熱住宅の一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。
食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。
また、能力以上の負荷で使用しないでください。

特長

高気密・高断熱住宅の快適性を充分に引き出すための、換気と空調のトータルエアシステムです。室内の汚れた空気を排出、外気の新鮮な空気を取り入れ、各部屋にムラなく快適な空気をお届けします。

PAM 省エネ&ハイパワーのPAM制御

「省エネ住宅には省エネ空調を」

省エネの先進PAM技術を高気密・高断熱住宅に生かしました。

カラッと除湿　寒くならずにしっかり除湿。
家族の大敵、ジメジメからさようなら。

「カラッと除湿」

標準・強力の湿度2段階切りかえができます。
「カラッと除湿」
ボタンワンタッチでOK！

クリーン&便利　グリルもフィルターもラクラク取り外し。
汚れが気になったらいつでも水洗いOK。

「ロングライフ　フィルター採用」

フィルターをジャバラ構造にすることで表面積を拡大。フィルターの清掃は20日に1回の割合ですみます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠警告	····誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	····誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

■ 図記号の示す意味は、次のとおりです。

	必ずアース線を接続してください。		必ず守っていただく行為を表わします。
	禁止を表わします。		

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据え付け上の注意事項

⚠警告

- **改造は絶対に行わないでください。**
  改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災などの原因になります。

- **据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。**
  ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- **アースを行ってください。**
  アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しないでください。
  アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠注意

- **設置場所によっては、漏電しゃ断器の取り付けが必要です。**
  漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。
- **可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは、設置しないでください。**
  万一ガスが漏れて室外ユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

- **排水ホースは、確実に排水できるように配管してください。**
  不確実な場合は室内に侵水し、家財などを濡らす原因になることがあります。
- **電源は、室内ユニット100V、室外ユニット200V、全熱交換気ユニット100V、吹出ユニット(自動ダンパー付)100Vにしてください。**
  指定以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、発火の原因になることがあります。

移設・修理時の注意事項

⚠警告

- **異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して専用ブレーカーを"OFF"にしてお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。**
  異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。

- **修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口にご相談ください。**
  ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。
- **エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。**
  ご自分で移動・再設置され、不備があると、水漏れや感電や火災などの原因になります。

・・・・・・安全上のご注意（つづき）

使用上の注意事項

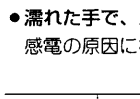
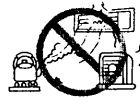
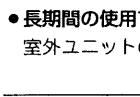
⚠警告

●**長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。**
体調悪化や健康障害の原因になります。

●**空気の吹出口や吸込口に、指や棒などを入れないでください。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

●**燃焼器具と一緒に運転するときは、別の専用換気を行ってください。**
本システム（全熱交換気ユニット使用時も）の換気では、燃焼器具の排気・換気には不十分です。酸素欠乏の原因になります。

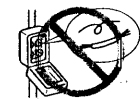
⚠注意

●**このエアコンは、高気密・高断熱住宅の一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医療品等の保存など特殊用途には使用しないでください。**
エアコン自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になることがあります。

●**濡れた手で、スイッチを操作しないでください。**
感電の原因になることがあります。

●**エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かないでください。**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

●**長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しないでください。**
室外ユニットの落下につながり、けがなどの原因になることがあります。

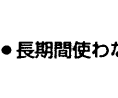
●**エアコン、全熱交換気ユニットを水洗いしないでください。**
漏電によって感電の原因になることがあります。

●**全熱交換気ユニットを設置せずに密閉した部屋で使用する場合は必ず換気を行ってください。**
換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。

●**全熱交換気ユニットを止めたまま運転をしないでください。**
換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。

●**室内ユニットの洗浄には専門技術が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。**
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

●**安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わないでください。**
故障や火災などの原因になります。

●**落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、専用ブレーカーを"OFF"にしてください。**
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

●**動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。**
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●**室内ユニットのお手入れは、必ずリモコンで運転を「停止」し、専用ブレーカーも"OFF"にしてください。**
けがや故障の原因になることがあります。

●**長期間使わない場合は、安全のため専用ブレーカーを"OFF"にしてください。**

●**室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。**
落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

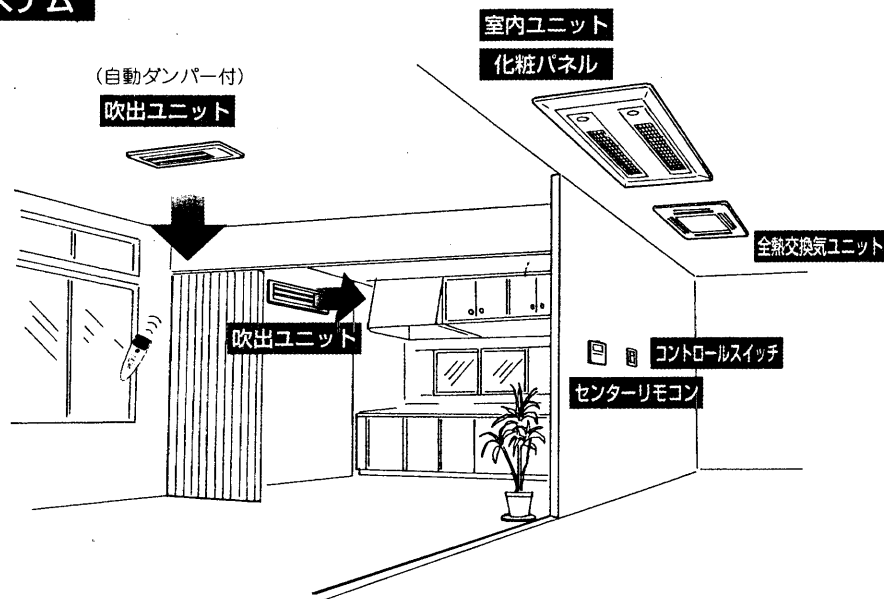
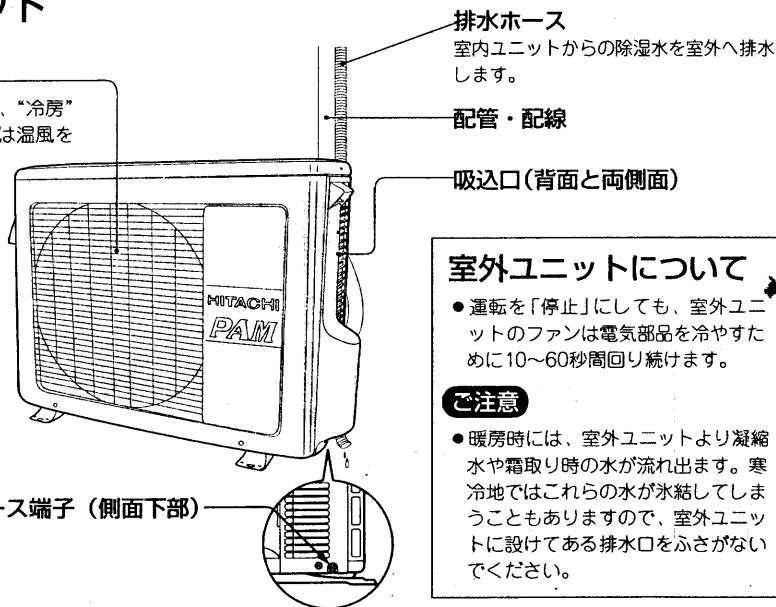
●**冷房運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転をしないでください。**
吹出口に露がつき、ときには露が落ち、家財などを濡らす原因になることがあります。

●**能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しないでください。**
設定温度に達しないことや、露が落ちて家財などを濡らす原因になることがあります。

●**全熱交換気ユニットのお手入れは、必ずコントロールスイッチで運転を「停止」し、専用ブレーカーも"OFF"にしてください。**
内部でファンが高速運転しておりますので、けがの原因になることがあります。

●**全熱交換気ユニットのお手入れは、安定した台を使って、部品の取り付けは確実に行ってください。**
不安定な台の使用や不確実な取り付けは、けがや破損の原因となることがあります。

各部の名称と働き①

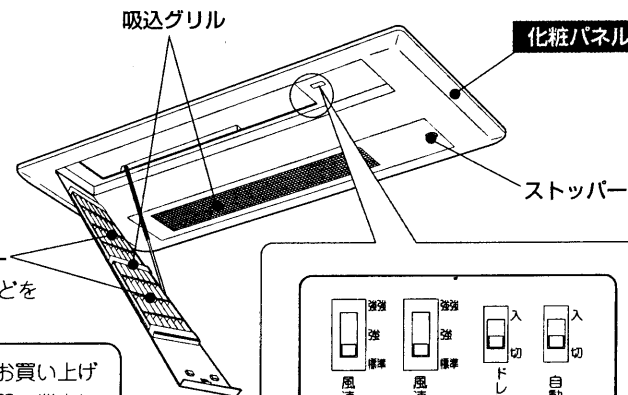
システム

室外ユニット

室外ユニットについて

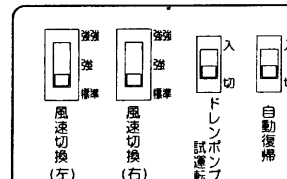
- 運転を「停止」にしても、室外ユニットのファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。

ご注意

- 暖房時には、室外ユニットより凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外ユニットに設けてある排水口をふさがないでください。

室内ユニット

電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で約10Wの電気を消耗します。

フィルター
空気中のチリやホコリなどをキャッチします。

ご注意
スイッチの操作は、お買い上げの販売店または、専門の業者に依頼してください。ご自分でスイッチの操作をすると能力が低下することがあります。

風速切換スイッチ（左・右）

室内ユニット内部のファンの回転数を変えるスイッチです。スイッチの操作は、必ず専門の業者が行ってください。

ドレンポンプ試運転スイッチ

室内ユニット内部に取り付けられたドレンポンプの試運転を行うスイッチです。ふだんは使わないでください。スイッチは「切」に合わせてください。

自動復帰スイッチ

- 自動復帰スイッチを「入」に合わせると、運転中に停電などで運転が停止しても、通電が再開されると自動的に停止前の運転の種類で運転を再開することができます。
  この時、運転ランプが点滅して自動復帰したことをお知らせします。
  どれかのボタンを押すと運転ランプの点滅は点灯に変わります。
- リモコンが故障して運転を行うことができない場合には、自動復帰スイッチを「入」にすると、自動運転で運転を行うことができます。

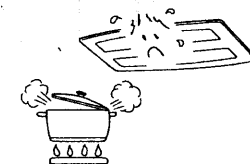
知っておいていただきたいこと

暖房の能力について

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はPAM及びインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具との併用をお勧めします。

ご注意 ストーブなど、高温になるものは、室内ユニット・吹出ユニット、全熱交換気ユニットの下では使わないでください。

冷房・除湿と室内の熱源

- 室内に冷房能力以上の熱源（多くの人が居る・熱器具を使う）がありますと、"設定温度"に到達しないことがあります。

各部の名称と働き②

センターリモコン

運転内容、タイマー予約内容などを室内ユニットに通信します。

運転ランプ（緑）

運転中に点灯します。停電などで運転が停止した後、通電が再開されると運転ランプは点滅することがあります。

セーブ運転ボタン

セーブ運転を開始します。（☞ ⑮～⑰ページ）

室温設定ボタン

室温を設定します。押し続けると早送りになります。（☞ ⑭ページ）

室温センサ

室内の温度を検知します。

カラッと除湿ボタン

カラッと除湿運転を開始します。（☞ ⑬ページ）

運転切換ボタン

運転の種類を選びます。（☞ ⑭ページ）

運転／停止ボタン

押すと運転、もう一度押すと停止します。

フィルターボタン

フィルターを掃除し、セットしたら押します。（☞ ⑲ページ）

現在室温ボタン

現在の室内の温度を表示します。（☞ ⑱ページ）

（扉を開けた状態）

セーブタイマー合わせ部

セーブタイマー入/切ボタン

セーブタイマーをセットするとき押します。（☞ ⑯⑰ページ）

取消ボタン

セーブタイマー予約を取消します。

日付／現在時刻ボタン

カレンダー（月・日）、現在時刻のセットと確認に使います。（☞ ⑪ページ）

時刻ボタン

カレンダー（月・日）、時刻をセットをするとき、セーブタイマー予約のときに押します。（☞ ⑪⑯⑰ページ）

△…を押すと時刻が進み、
▽…を押すと戻ります。
押し続けると、早送りになります。

各部の名称と働き③

吹出ユニット

（リモコンは、自動ダンパー付のみ付属します。）

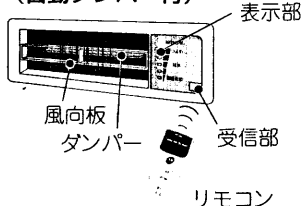
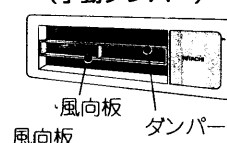
（自動ダンパー付）

（手動ダンパー）

風向板
ダンパー

風向板
お好みの位置に手で操作してください。

送信部

HITACHI
Total Air System

標準

●当初設定した空調になります。

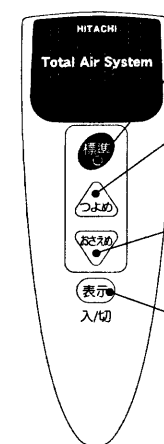
つよめ

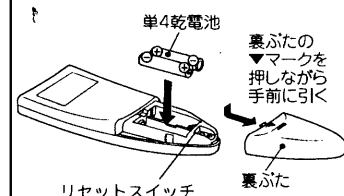
●つよめの空調にします。
（ダンパーが開く方向に動作します。）

おさえめ

●おさえめの空調にします。
（ダンパーが閉じる方向に動作します。）

表示

●吐出ユニットのランプが点灯しているときに押すとランプが消灯し、消灯しているときに押すと点灯します。

調　節	調節の目安	表示ランプ	吹出ユニットの表示部
2段つよめ	つよめの空調になります。	5つ点灯	つよめ
1段つよめ	ややつよめの空調になります。	4つ点灯	
標　準	当初設定した空調になります。	3つ点灯	標準
1段おさえめ	ややおさえめの空調になります。	2つ点灯	
2段おさえめ	おさえめの空調になります。	1つ点灯	おさえめ

電池ケース部

乾電池について

- 乾電池の寿命は、普通の使いかたで約1年です。（ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。）
- 受信できる距離が著しく短くなったら乾電池を取り換えてください。
- 乾電池を交換したときや、動作が正常でない場合は、リセットスイッチを押してください。

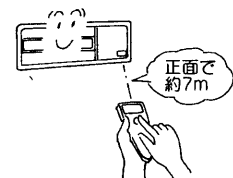
- 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み次の点に特に注意してご使用ください。

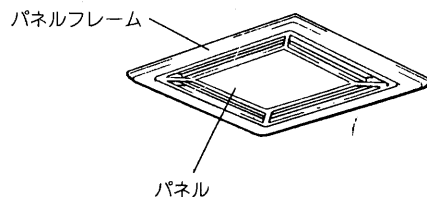
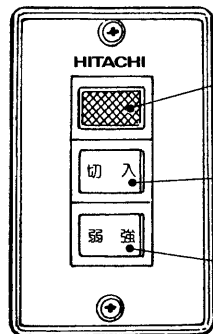
(1)乾電池の＋（プラス）、－（マイナス）の向きは、器具の表示どおりに正しく入れる。
(2)新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
(3)長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておく。万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

リモコンを操作するとき

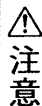
- **操作は、吹出ユニットの受信部に向けて。**
  受信できる距離は、正面で約7m。受信部に対して斜めになるほど距離は短くなります。また、室内に電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
- **リモコンはていねいに扱ってください。**
  落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。
- 電源投入後5秒間は、リモコン操作をしても信号を受けつけません。

各部の名称と働き④

ご使用の前に

全熱交換気ユニット

全熱交換気ユニットの運転にはコントロールスイッチが必要です。
コントロールスイッチは日立換気扇用スイッチ（HFS-SWS2など）を使用してください。

運転ランプ
運転スイッチを入れると運転ランプが点灯します。

運転スイッチ

風速切換スイッチ
強・弱のいずれかを選べます。

注意
- 通常は、空気の質を低下させないために常時運転を行ってください。
  換気が不十分な場合は酸素不足により事故の原因になることがあります。

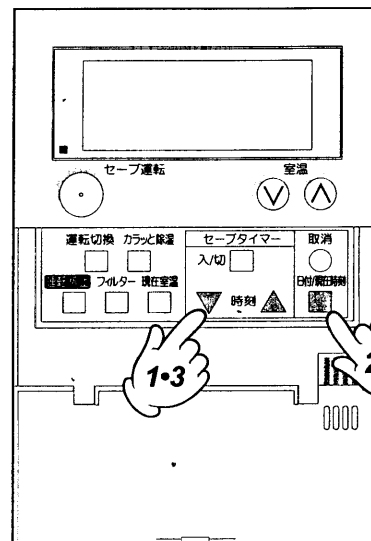
知っておいていただきたいこと

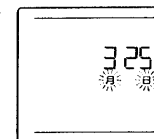
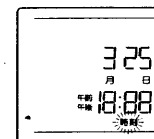
- 本システムの換気は、高気密・高断熱住宅の快適性を充分に引き出すため常時、全館換気を目的としたものです。
  しかし、多量の湿気・臭い・煙・熱などの発生には対応しきれない場合があります。
  このような場合には専用の換気・脱臭装置を併用してください。

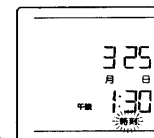
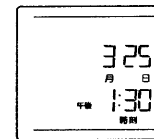
リモコンの準備をしてください

ご使用の前に

扉をあけてカレンダー（月・日）と現在時刻を合わせる〈例：3月25日午後1時30分に合わせる場合〉

電源を入れると"月日"が点滅表示になっています。

1 ▽ 時刻 △ ボタンを押して、月日を合わせる
- 押し続けると早送りになります。

△ ←月・日が進む
▽ ←戻る

2 日付/現在時刻 ボタンを押す
- "月日"の点滅表示が点灯表示に変わり、"時刻"が点滅表示をはじめます。

3 ▽ 時刻 △ ボタンを押して、現在時刻を合わせる
- 押し続けると早送りになります。

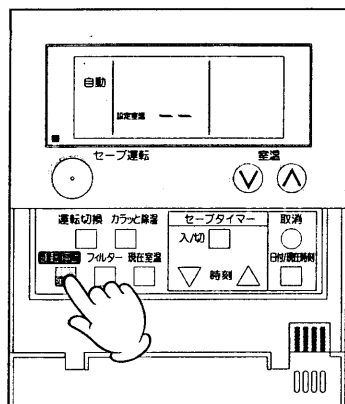
△ ←時刻が進む
▽ ←戻る

4 日付/現在時刻 ボタンを押す
- "時刻"の点滅表示が点灯表示に変わり、10秒後自動的に消えます。

カレンダー（月・日）と現在時刻の確認のしかた

- 日付/現在時刻 ボタンを押してから、上記 **2**、**4** の手順で確認を行い、必要に応じて **1**、**3** で修正を行ってください。

知っておいていただきたいこと

月日／現在時刻を設定しないと…
- 自動運転のニューロ＆ファジィ制御が正しく働かず、運転の種類や設定温度が適切に設定されません。
  （自動運転のニューロ＆ファジィ機能は、室温・外気温・月日・時刻の組み合わせから、よりよい運転モードと設定室温を選択するので、月・日・現在時刻は必ず合わせてください。）
- セーブタイマー予約運転（☞⑯⑰ページ）ができません。
- 月日や時刻の設定の途中では、セーブタイマー予約運転ができません。

自動運転をするには

■ カレンダー機能・室温・外気温などから、ニューロ＆ファジィ制御によって、そのときに適した運転の種類（暖房・カラッと除湿・冷房）と快適温度を決定します。

● 運転の種類が自動表示になっているか確認してください。

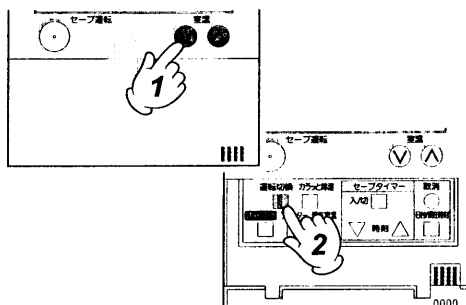
運転/停止 ボタンを押す

● リモコンの運転ランプが点灯して、運転を開始します。
● 運転開始後は1時間ごとに、室温、外気温を検知し、必要に応じて運転の種類を切り換えます。

停止 運転/停止 ボタンを押す

■ お好みに応じて、室温の調節ができます。

室温 ∨ ∧ ボタンを押す

● 1回押すごとに1℃変化します。
● 標準室温より1℃高いと ▲1℃ と表示されます。
　標準室温より1℃低いと ▼1℃ と表示されます。
● 調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。

● 自動運転がお好みに合わない場合、または手動運転に切換えたいときは、運転切換 ボタンで運転の種類を切換えてください。
（☞ ⑭ページ）

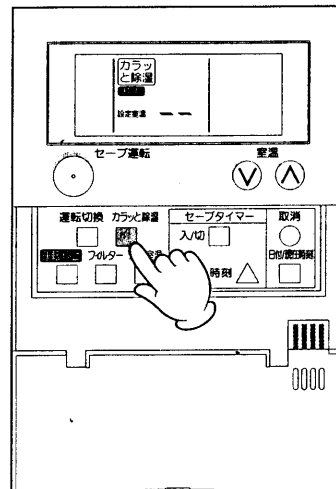
自動運転のしくみ

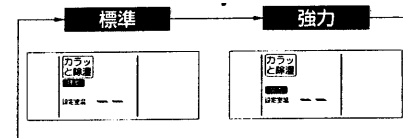
…自動運転では、自動的に次のような運転を行います。

暖　房	● 室温が約23℃以下のとき、暖房運転を行います。設定温度を約23℃前後とします。
カラッと除湿	● 室温が約23℃～27℃のとき、「カラッと除湿」運転を行います。設定温度は運転開始時の室温とします。「カラッと除湿」の「標準」と同じ運転を行います。
冷　房	● 室温が約27℃以上のとき、冷房運転を行います。設定温度を約27℃前後とします。

● 運転の種類や設定温度は、カレンダー・室温・外気温によって変わります。
●「カラッと除湿」の設定になった場合に、お部屋の湿度があまり高くないときは、運転しないことがありますが、これは故障ではありません。

カラッと除湿運転をするには

■ カラッと除湿 ボタンを押すと、2種類の"カラッと除湿"運転が行えます。

カラッと除湿 ボタンを押す

● リモコンの運転ランプが点灯して、運転を開始します。
カラッと除湿 ボタンを押すたびに、次のように変わります。

停止 運転/停止 ボタンを押す

● カラッと除湿運転から、他の運転に切換えたいときは、運転切換 ボタンで運転の種類を切換えてください。
（☞ ⑭ページ）
● お好みに応じて、室温の微調節ができます。
● 設定室温は、室温ボタンを1回押すごとに1℃変化します。
（設定できる範囲は、室温に対して高めに3℃、低めに3℃です。☞ ⑫ページ）

カラッと除湿運転のしくみ	運転の種類	このようなときに	運転のしくみ
	カラッと除湿 標準 強力	● ジメジメするとき ● 冷房のかわりに	● ボタンを押したときの室温をほぼ設定温度とします。（室温10℃以下は10℃、10℃～24℃は室温＋2℃、24℃～28℃は室温、28℃以上は28℃） ● 目標湿度は、標準 が約50～60％、強力 が約40～50％です。 目標湿度前後まで下がれば、運転を停止します。 上がれば運転を再開します。

● 在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定室温を変えても設定室温に到達しないことや、目標湿度にならないことがあります。

知っておいていただきたいこと

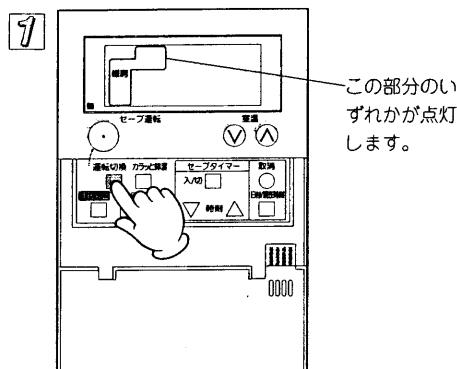
● 室内、外気温1℃以上でお使いください。
● カラッと除湿運転（標準、強力運転）時、室内ユニットから「シュルシュル」「シャー」という音がするときがあります。これは冷凍液がパイプの中を流れる音です。
● 吸込口や吹出口を衣類などでふさがないでください。能力低下の原因になります。
● 除湿しながらお好みの温度に設定したい場合には、手動運転の「カラッと除湿」をお勧めします。（☞ ⑭ページ）
● この製品は、全館空調を目的としております。設定温度に達するまでに時間がかかりますので、連続運転でのご使用をおすすめします。

手動運転［暖房・カラッと除湿・冷房・送風］をするには

■ 運転の種類・室温などを設定したいとき、次の条件でお使いください。

暖房	カラッと除湿	冷房
●外気温−20℃以上、21℃以下 −20℃以下のときや、21℃を超えるときは、機械保護のため、運転しないことがあります。	●外気温1℃以上 （外気温1℃以下では運転しません。）	●外気温22℃以上

1 運転の種類を選ぶ

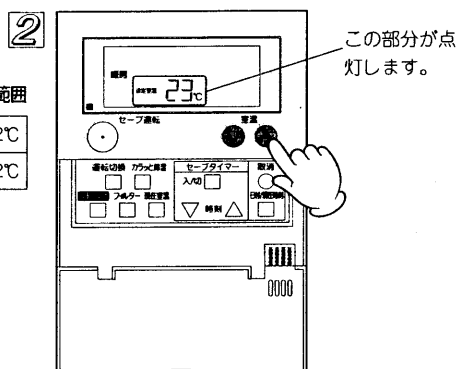
自動・暖房・カラッと除湿・冷房・送風のいずれかを選べます。

2 室温のセット

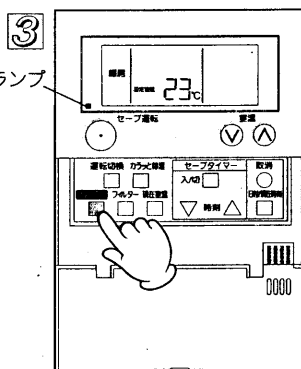
■お勧め設定温度

暖房	20~24℃
カラッと除湿	22~28℃
冷房	25~28℃

■リモコン設定温度範囲

暖房・冷房	16~32℃
カラッと除湿	10~32℃

●送風運転の場合は、室温の設定はありません。

3 ボタンを押す

●リモコンの運転ランプが点灯して、運転を開始します。

停止 ボタンを押す

次回からは ボタンを押すだけで、上記1~3でセットした同じ運転ができます。

カラッと除湿運転のしくみ

"設定室温"によって、次のような運転を行います。

設定室温	運転内容	
室温より低く設定したとき	冷房ぎみ除湿	室温を下げながら、湿気を取る運転をします。 ●室外の温度によっては、設定室温にならない場合があります。
室温より高く設定したとき	暖房ぎみ除湿	室温を上げながら、湿気を取る運転をします。 ●室外の温度によっては、設定室温にならない場合があります。

●在室人数や部屋の条件によっては、設定室温や目標湿度にならないことがあります。

風速について

風速は、運転の種類、室温と設定室温の差などにより自動的に変わります。

知っておいていただきたいこと

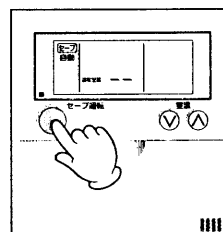
●運転中に 運転切換 ボタンを押すと、保護回路が働いて約3分間圧縮機が運転しないことがあります。
●暖房運転時、右のような場合にはしばらく風が出ないことがあります。
●カラッと除湿運転時は、室外ファンが低速運転または停止することがあります。

予熱中
運転開始後の約2~3分間。

霜取り中
室外ユニットの熱交換器に霜が付きますと、霜取りを行います。（配管の長さが長い場合は、霜が付きやすくなります。）霜取り時間は約40分に1回、5~10分ぐらいです。

⚠注意 ●冷房運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで、長時間運転しないでください。吹出口に露が付き、ときには露が落ちて、家財などを濡らす原因になることがあります。

セーブ運転をするには

■ 外出時に使用します。

セーブ運転 ボタンを押す

●リモコンに セーブ が点灯し、セーブ運転を開始します。

解除 セーブ運転 ボタンを押す

●リモコンの セーブ が消灯します。

セーブ運転のしくみ

運転の種類	このようなときに	運転のしくみ
自動	●外出時	自動的に運転の種類に応じた下記の運転を行います。
暖房		設定温度が約5℃下がります。
カラッと除湿		目標湿度が約10%上がります。
冷房		設定温度が約2℃上がります。
送風		風速が弱くなります。

セーブタイマー予約運転をするには

■ タイマーは入⇄切タイマー、入タイマー、切タイマーの3種類の使いかたができます。予約は、その内の1種類のみです。

タイマー予約のしかた

入タイマーのみ1回予約する場合：	1→2→3
切タイマーのみ1回予約する場合：	4→5→6

入タイマー は、セットした時刻にセーブ運転を開始します。

切タイマー は、セットした時刻にセーブ運転を解除します。

タイマー予約の取消しかた

取消 ボタンを押す

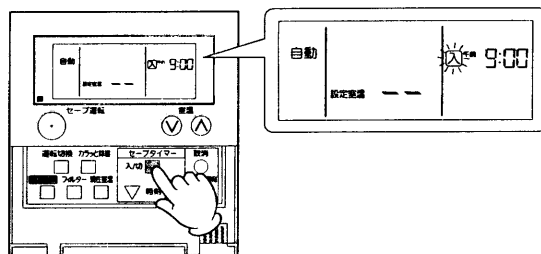
全てのタイマー予約が取り消されます。
セーブ運転中の場合は、通常の運転に戻ります。

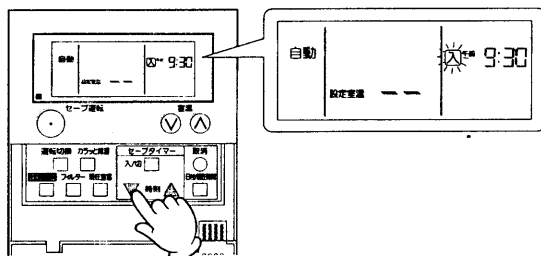
入⇄切タイマー予約のしかた

現在時刻を基準にして、セット時刻が早い方から先に作動します。（必ず日付・現在時刻を確認してください。）（☞ ⓫ページ）

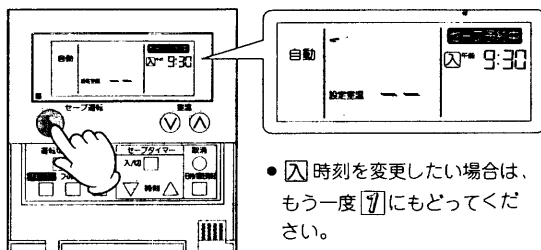
例：午前9：30分にセーブ運転を開始し、午後3：30にセーブ運転を解除する場合。

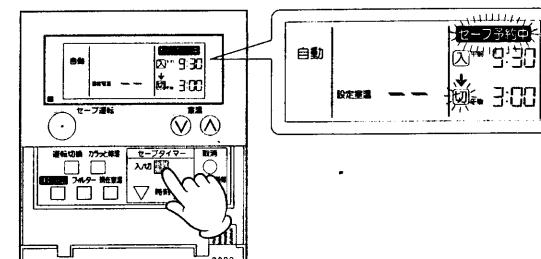
1 入/切 ボタンを数回押して、入を点滅させる

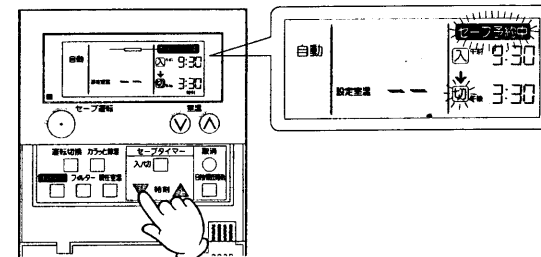
● 入が点滅します。

2 入 時刻をセット

● ▽ 時刻 △ ボタンを押して時刻をセットします。
● 時刻は10分単位です。
● 押し続けると、早送りになります。

3 セーブ運転 ボタンを押す

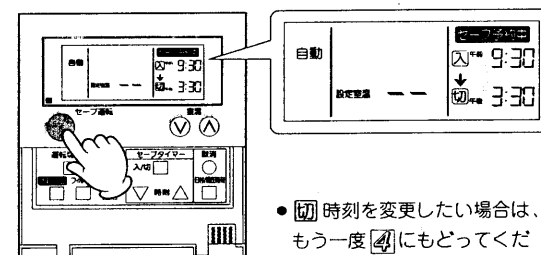
● 入タイマーが予約されます。
● 入の点滅が点灯に変わり、セーブ予約中 が点灯します。

● 入 時刻を変更したい場合は、もう一度 1 にもどってください。

4 入/切 ボタンを数回押して、切を点滅させる

● 切が点滅します。
● ↑↓ 表示は入タイマー、切タイマーの動作順序を表します。

5 切 時刻をセット

● ▽ 時刻 △ ボタンを押して時刻をセットします。
● 時刻は10分単位です。
● 押し続けると、早送りになります。

6 セーブ運転 ボタンを押す

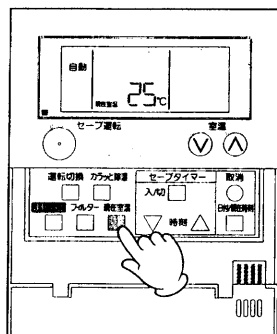
● 切タイマーが予約されます。
● 切の点滅が点灯に変わり、セーブ予約中 が点灯します。

自動
設定室温 ーー
セーブ予約中
入 9:30
切 3:30

● 切 時刻を変更したい場合は、もう一度 4 にもどってください。

知っておいていただきたいこと

● セーブタイマー予約は、エアコン運転中にしかセットできません。
必ず自動・暖房・カラッと除湿・冷房・送風運転のどれかが運転中であることを確認してから予約してください。

室内の温度を表示するには

■ 現在室温 ボタンを押すと、室内の温度をリモコンに表示します。

10秒間、室内の温度を表示します。

● 表示中に 現在室温 ボタンを押すと表示が消えます。

知っておいていただきたいこと

● 表示される範囲は0℃～40℃です。
実際の温度がこの範囲を超える場合でも、この範囲内で表示されますが、故障ではありません。

● リモコンに表示される温度は目安です。

上手な使い方

「適切な室温」が、からだにも家計にもグッド。

⚠警告 ● 冷やし過ぎや暖め過ぎは、健康上好ましくないうえ、電気代もムダ。

窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

外出するとき、セーブ運転の有効利用を。

（セーブ運転の使いかたは ☞ ⑮⑯⑰ページ）

次のものは使わないで!

● ベンジン、シンナー、みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、樹脂部品が変形することがあります。

吹出口・吸込口はふさがないで!

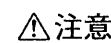
● 室内・室外ユニット・吹出ユニットの吹出口や吸込口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。
性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

室内ユニットに「抗菌空気清浄フィルター」(別売)を取り付けることができます。

● SP-KCF2
● 取り付け方法については、「抗菌空気清浄フィルター」に同梱している取り付け説明書を参照してください。

化粧パネル、リモコンはやわらかい布でからぶきをしてください。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

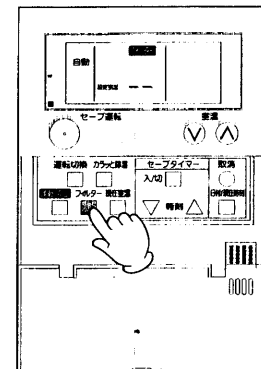
お手入れ①

⚠注意 お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、専用ブレーカーを切ってください。

■ 室内ユニットのお手入れ

リモコンにフィルターサインが点灯したら、室内ユニットのフィルターのお掃除を行ってください。電気代の節約にもなります。

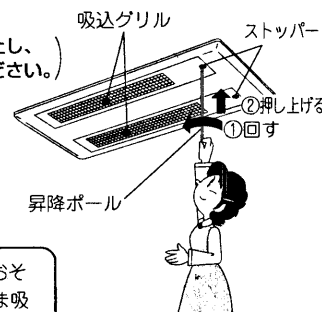
吸込グリルとフィルターを取り外します。吸込グリルとフィルターを掃除し、再び取り付けます。（☞ ⑲⑳ページ）

フィルター ボタンを押して、リモコンのフィルターサインを消します。

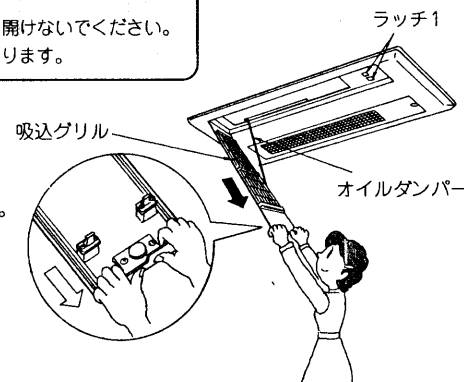
ご注意
● 停電等により本体の電源が切れたときには、フィルターサインが正しく表示されないことがありますので、約20日間を目安に室内ユニットのフィルターの点検を行ってください。

吸込グリルとフィルターの取り外し・取り付けについて

● 左右の吸込グリルについて、以下の手順で行ってください。

1 吸込グリルを開ける（まず、リモコンで運転を停止し、専用ブレーカーを切ってください。）

● 吸込グリルのストッパーの“溝”に、昇降ポールを差し込み、図のようにつまみを約90°回転させ、押し上げるとラッチ1（2ヵ所）が外れ、オイルダンパーによりゆっくり手元まで（約40°）開きます。（斜め方向から押し上げますと、ラッチ1が外れにくい場合があります。必ず真下から押し上げてください。）

ご注意
● 吸込グリルの開き始め、約20°まで吸込グリルが急激に開くおそれがありますので、昇降ポールをストッパーに差し込んだまま吸込グリルを支えてください。昇降ポールの紛失等で、手で開く場合は特にご注意ください。
● 吸込グリルが完全に開くまで、無理に手で押し開けないでください。無理に開けるとパネル本体が破損することがあります。

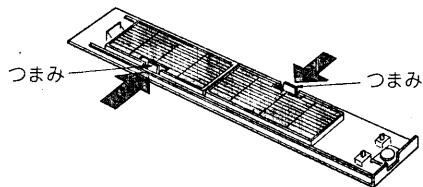
2 吸込グリルを取り出す

● 吸込グリルを手前に引いて、完全に取り外します。
（吸込グリルにフィルターがついて出てきます。）

上手な使い方

3 掃除機でホコリを吸い取る

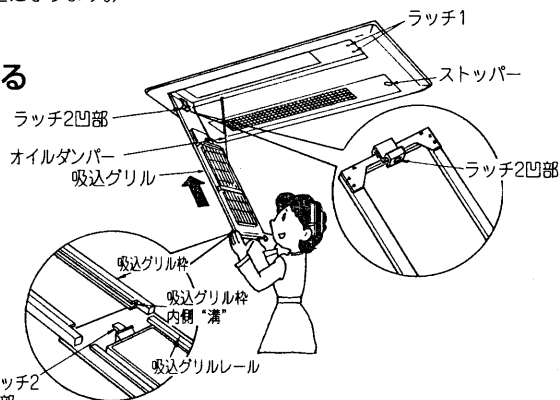
❶ 吸込グリルからフィルターを外します。
（つまみを内側に押して、持ち上げてください。）

❷ 吸込グリルとフィルターのホコリを掃除機で吸い取ります。

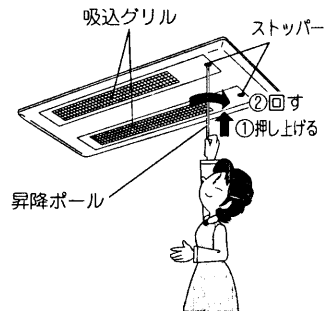
- 吸込グリルは、水洗いできます。やわらかいスポンジのようなもので洗い、中性洗剤を使った場合はよく水洗いを。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- フィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いして、陰干ししてください。

4 フィルターを取り付ける

- つまみの反対側のツメを先に吸込グリルの角穴（長い方）に挿入してから、つまみを押し込んでください。
（つまみのところに "溝" がある方が上になります。）

5 吸込グリルを取り付ける

- 吸込グリルを枠の内側の "溝" に、吸込グリルレールを差し込んでください。
吸込グリルのラッチ2凸部が、ラッチ2凹部に挿入されるまでグリル枠に沿って押し込みます。

6 吸込グリルを閉じる

- 吸込グリルのストッパーの "溝" に、昇降ポールを差し込み、吸込グリルを真下から押し上げます。
- ラッチ1（2ヵ所）がはまったことを確認し、ストッパーを右に約90°回転させて、吸込グリルを閉じます。

※昇降ポールを紛失した場合は、コイン等をストッパーの "溝" に挿入し、回転させて開閉作業を行ってください。
ストッパー部を押し上げますと、ラッチ1が着脱し吸込グリルの開閉ができます。

ご注意	**昇降ポールは子供の手の届かない所に保管してください。（誤って使用するとケガをする恐れがあります。）**

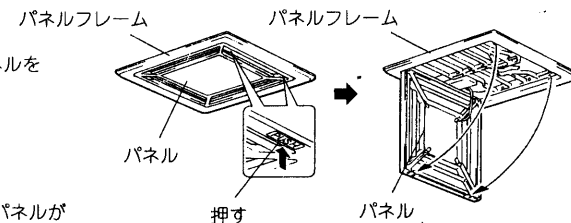
お手入れ②

⚠注意 お手入れの前には、コントロールスイッチで運転を停止して、専用ブレーカーを切ってください。

■ 全熱交換気ユニットのお手入れ

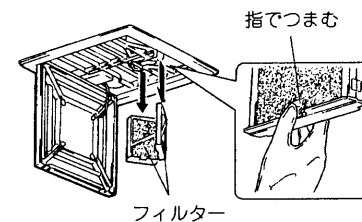
◆ 性能を維持していただくために、フィルターに付着したゴミ、ホコリを6ヵ月に1回以上清掃してください。

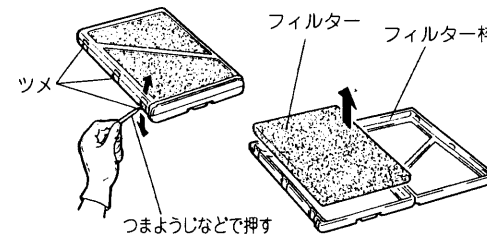
1 パネルを開ける

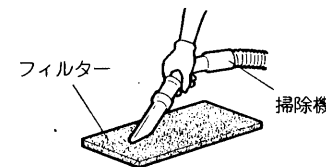
パネルのPUSH（2ヵ所）を指で押してパネルを開けてください。

お願い

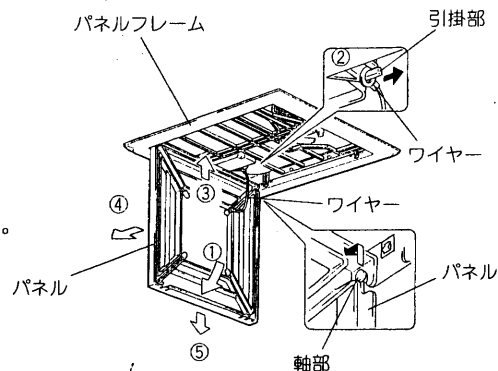
- パネルに天井材が入れてある場合は、パネルが重くなっています。ゆっくりとあけてください。

2 フィルターを取り出す

右図のように、指でつまんで下へ引き出してください。

3 フィルターを枠からはずす

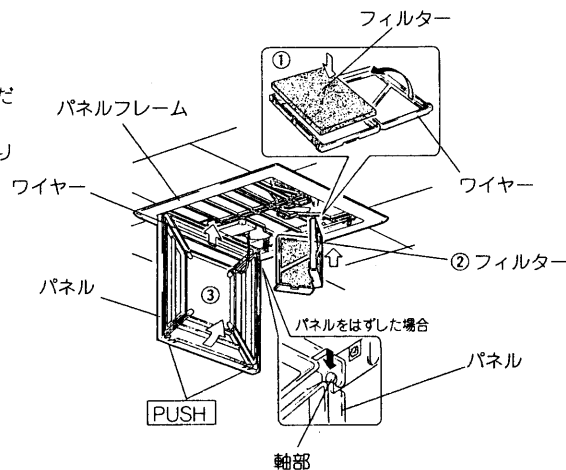
フィルターの枠の側面のツメ（3ヵ所）をつまようじなどで押して、フィルターを取り出してください。

4 掃除機でホコリを吸い取る

フィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いして、陰干ししてください。

パネル・パネルフレームの清掃

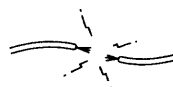
- パネルの PUSH (2ヵ所)を指で押してパネルを開けてください。
- 本体の引掛部からワイヤーを取りはずしてください。
- パネルフレームを上へ持ち上げて軸部をはずしてください。
- 清掃後、逆の手順でパネルを取り付けてください。

ご注意

- 必ずワイヤーを取り付けてください。
- パネル裏側の段ボールは水で濡らさないでください。
  またパネルに天井材が入れてある場合は重くなっています。
  取り扱いには十分注意してください。

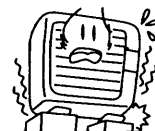
お手入れ後の組立て

- フィルターをフィルター枠に入れて閉じてください。
- フィルターを本体にしっかりと押し込んで取り付けてください。
- パネルを閉じてください。

定期点検

■ 半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

アース線

- アースが確実に行われていますか？

⚠警告　アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。

据付台

- 据え付けが不安定になっていませんか？

⚠注意　据付台が極端にさびている、あるいは室外ユニットが傾いたりしますと、室外ユニットが倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になることがあります。

点検整備

システムを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。

ご注意　室内ユニットの内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内ユニットから水たれを発生させることがあります。

- 通常のお手入れと別に、2～3年毎に内部部品（フィルター、ツユサラ、ファンモーター等）の定期点検及び交換を行ってください。
- 定期点検整備には専門技術を必要とします。
  費用など詳しいことは、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

■ サービスを依頼する前に …次のことをお調べください。

運転しない	①専用ブレーカーまたは、漏電しゃ断器が“切”になっていませんか？	—
	②ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	—
	③停電ではありませんか？	—

よく冷えない よく暖まらない	①フィルターにホコリが詰まっていませんか？	⑲〜㉒ページ
	②“設定室温”のセットは適正になっていますか？	⑭ページ
	③室内・室外ユニット、吹出ユニットの吹出口や吸込口を障害物などでふさいでいませんか？	⑱ページ

■ これは故障ではありません。

「シュルシュル」「シャー」 「ボコボコ」「プシュ」という音	冷凍液がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。 除湿運転時、室内ユニットから「シャー」という音がします。これは冷凍液の流れる音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「カチカチ」という音	圧縮機内部に設けた給油制御弁が働くときに発生する音です。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外ユニットから湯気が立つ	霜取り運転で解けた水が蒸発するためです。
においがする	室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。
“停止”にしても室外ユニットが動いてる	オートフレッシュ除霜（“暖房”を停止するとマイコンが室外ユニットの霜付き状態をチェックし、必要に応じ自動霜取り運転を指令する機能）が働いているためです。
設定室温にならない	在室人数や室内、室外の条件によっては、リモコンの設定室温と実際の室温に若干のズレが生じる場合があります。リモコンの設定室温は目安です。
外気温−20℃より低いとき、エアコンの運転開始時に停止する	外気温が−20℃より低い温度でエアコンを運転させた場合、条件によっては始動時に圧縮機が止まることがありますが、自動的に再運転します。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや右のような現象が出たときは、専用ブレーカーを“OFF”にして、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては㉕ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- リモコンに 点検 サインが点灯または点滅している。

（表示している数字で故障原因がわかりますので、専用ブレーカーを切る前に表示している数字をご確認の上ご連絡ください。）

保証とアフターサービス

（必ずお読みください。）

保証について

この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間はお買い上げの日から1年間です。
（ただし、冷凍サイクル部分は5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。
費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後9年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

■ **使用中に異常が生じたときは、専用ブレーカーを“OFF”にして、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。（☞㉔ページ）アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。**

形　名…	RAQ-50LX1
故障状態…	できるだけ詳しく
道　順…	付近の目印も

アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口へお問い合わせください。

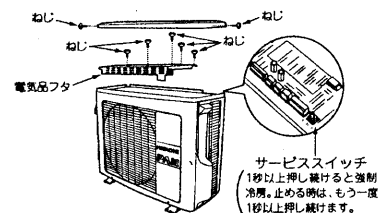
転居されるときは
ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

再据付工事のお申し込みは
販売店に再据付工事（転居または別の部屋への接続）を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制冷房運転 （販売店で行う操作です。）

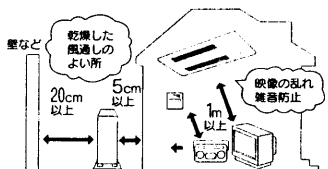
- 室外ユニットのサービススイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外ユニットに冷媒を回収するときに使用してください。
- 室内ユニットの自動復帰スイッチが“入”のときは、“切”にしてからサービススイッチをONさせてください。

サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

ご注意 ●5分以上は絶対に運転しないでください。

据え付けについて

⚠警告 ●据付工事や電気工事は専門の技術が必要ですので、販売店に依頼してください。
（費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。）
●据付場所や電源コンセントの取り付け位置については、販売店とよく相談して決めてください。
●アースは感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もありますので、設置してください。

据付場所

●室内ユニットおよびリモコンは、テレビやラジオから1m以上離してください。

●海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯、油煙の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。

⚠注意

●除湿水排水ホースから除湿水が出ますので、水はけのよい場所をお選びください。
●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わないでください。
（引火や爆発のおそれがあります。）
●ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。従って特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培飼育など）にはご使用にならないでください。

電源について

●電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

アースについて

⚠警告

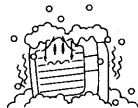
●万一漏電したときの感電防止のために、アースを行ってください。（アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。）
アースをしますと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

●次のような場所にアース線を接続しないでください。
①水道管
②ガス管…爆発のおそれがあります。
③電話線のアースや避雷針
…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

⚠注意

●漏電しゃ断器について
据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法規で義務づけられています。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

積雪について

室外ユニットの吸込口や吹出口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
室外ユニットの吹出口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
室外ユニットの吹出口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

1. 室内ユニット、室外ユニット

形名		室内ユニット RAQ-50LX1	室外ユニット RAC-Q50LX2
電源 (V)		単相100	単相200
定格周波数 (Hz)		50・60共用	
冷房能力 (kW)		5.0	
暖房標準能力 (kW)		6.5	
運転電流 (A)	冷房	0.6	8.9
	暖房	0.8	9.8
消費電力 (kW)	冷房	0.030	1.760
	暖房標準	0.040	1.940
待機時の消費電力 (W)		5.0（ブレーカーOFF時は0）	5.0（ブレーカーOFF時は0）
運転音 (dB)	冷房	39	48
	暖房	40	49
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)		265×1000×500	570×710×280
製品質量 (kg)		23	35

●この仕様表は、JIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。

2. 全熱交換気ユニット

形名		RAQ-MN100
電源 (V)		単相100
定格周波数 (Hz)		50・60共用
運転電流 (A)	強風	0.39/0.41
	弱風	0.23/0.22
消費電力 (kW)	強風	0.037/0.039
	弱風	0.022/0.021
風量 (m³/h)	強風	100/100
	弱風	60/60
運転音 (dB)	強風	34/31
	弱風	27/25
外形寸法(mm)(高さ×幅×奥行)		293×386×386
製品質量 (kg)		6.5